

令和3年度 第6回千葉市地域自立支援協議会運営事務局会議 会議録

(書面開催)

- 1 期間等
 - ・事前情報提供期間 令和4年2月15日(火)～令和4年3月7日(月)
 - ・資料配布・意見照会期間
令和4年3月7日(月)～令和4年3月15日(火)
 - ・集計日 令和4年3月16日(水)

- 2 方法
 - ・書面決議による代替開催
(事務局・稲毛区障害者基幹相談支援センターで集計)

- 3 審議事項
 1. 基幹ネットワーク会議の位置づけについて
 2. 緊急時等のシェルター機能施設について
 3. 公民館普及啓発活動について
 4. 医療的ケア児等支援部会について
 5. 各区地区部会議事要旨に関する意見及び報告
 6. その他 意見・共有事項

- 4 書面提出の状況
 - ・総委員数：23名
 - 書面による意見提出数：17名

- 5 議事の結果
 - 別紙1・2のとおり

<別紙1>

	意見有	意見無	意見内容
1. 基幹ネットワーク会議の位置づけについて	2名	15名	別紙2のとおり
2. 緊急時等のシェルター機能施設について	3名	14名	別紙2のとおり
3. 公民館普及啓発活動について	3名	14名	別紙2のとおり
4. 医療的ケア児等支援部会について	1名	16名	別紙2のとおり
5. 各区地区部会議事要旨に関する意見及び報告	4名	13名	別紙2のとおり
6. その他 意見・共有事項	2名	15名	別紙2のとおり

<別紙 2 委員からの意見内容>

審議事項

【1. 基幹ネットワーク会議の位置づけについて】

- 議事要旨を各区の主査に情報提供いただけると幸いです。
- 運営法人が異なる基幹が6区で密に情報共有を行い、市全体としての調整を図っている点、立場が同じ基幹同士で、率直に意見交換が行える点において有意義だと考えます。

【2. 緊急時等のシェルター機能施設について】

- ハード面については、新規・既存資源の活用を問わず、市内に1か所程度は整備する必要があると考えます。ソフト面については、緊急時に利用しやすい平時とは異なる基準を設定して備える必要があると考えます。
- 緊急避難的な対応を求められる場合、①緊急とみなした判断が覆されることはあるのか②緊急の場合、支給等は後付けで着くことが保障されるのか③緊急避難的な対応であれば、人員、設備的に急な対応が必要と考えられるが、その部分について、通常の利用と同じ程度の報酬しか出ないのか。が、現場で対応をする側としては気になります。

【3. 公民館普及啓発活動について】

- 精神障害に関する正しい知識を普及する目的の事業と思いますが、副次的な効果として、このようなイベントを行うことによって、基幹相談支援センターに対する地域の認知度が向上し、基幹がより良い地域づくり機能を果たすことに繋がっていくと思います。とても大事な取り組みで参加させていただき身近な地域で障害のある方の話ができたのがとても良かったです。今後も続けていけたらよいと思いました。
- こうした取り組みがあることを周知させるとともに、参加して理解を深めたい。

【4. 医療的ケア児等支援部会について】

- 花見川区基幹としてもスタッフを出したいと考えている。

【5. 各区地区部会議事要旨に関する意見及び報告】

- 65歳到達に伴う障害から介護への制度移行については、奥の深いテーマであると感じている。行政の窓口対応だけでは限界があるので、関係している事業所の方々からのアプローチも重要であると考えていますので、今後ともスムーズな制度移行にご協力をお願いします。
- 若葉区基幹より、ひきこもり地域支援センターの掲示や説明会について、意見を頂きました。今後センターの普及啓発を積極的にすすめたいと思います。ありがとうございました。
- 中央区基幹におけるバス停までの送迎について。特に朝の短時間支援は、朝早くからの支援で元々担い手の確保が難しい。そのため、近隣からの派遣が難しく、支援に関わる拘束時間の殆どが支援場所への移動、そこからの帰還の時間で、実際の支援は30分以内で終わってしまい、多くのケースで赤字となる。表現の問題であるかもしれないが、決して「ちょっとした」支援ではないことをご理解いただきたい。
- 中央区基幹ケース2について。家を建て替える、車を買うなどと言ったライフプランが想定されにくい方の場合、一般の方と比べ生涯の貯蓄額として必要であろう金額も大きく下がります。5万円をすべて遊興費に使うことについても、金額についても、使い切った以降の要求がないのであれば、問題があるとは思いません。母の理想像と、給料全体の使い道について、しっかりと相談が必要と感じます。
- 若葉区基幹について。1. 80-50問題について。この疑問について、基幹相談としてはどのようにお答えになったのでしょうか？
- 65歳移行問題には関心が多いように思った。

【6. その他 意見・共有事項】

- ワーナーホームの山岡様同様、地域生活拠点事業のコーディネーターを終了することになりました。前任者から引き継ぎましたが、思うように役割が果たせず申し訳なく思っております。この制度について地域の方が理解できておらず、説明不足を痛感致しました。今後は相談支援専門員さんの力が必要になり、安心して登録していただけるように、相談員と連携をお願い出来ればと思います。お世話になりました。皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

- 基幹相談支援センターは地域づくりのコーディネーター機能と個別相談支援の両面の役割のバランスを検討する必要があるのはわかりました。また、千葉市は大所帯で、網羅的に全域を見るための協議に時間と労力がかかるように思います。